

松本市保有文書量調査及び削減に向けた手法検討支援業務委託 評価基準書

1 評価基準書について

この基準は、松本市保有文書量調査及び削減に向けた手法検討支援業務委託の契約候補者を選定するための評価の基準等について示すものである。

2 契約候補者の選定

- (1) 契約候補者の選定は、企画提案書やヒアリングの内容を踏まえ、別表「評価基準表」に基づく審査委員会の各委員の採点により、合計点が最も高い提案者を契約候補者とする。
- (2) 契約候補者と優先的に契約交渉を行うこととし、契約協議が整わなかった場合は、次点者と契約交渉を行う。
- (3) 全委員の技術評価点の合計450点中270点（6割）を最低基準と定め、最低基準に満たない場合は、契約候補者とししない。
- (4) 同点の場合は、審査委員会の協議により、技術評価点の高い者を契約候補者として決定する。

3 評価基準と採点の方法

評価は、Cを標準に5段階評価とし、採点は、各項目の配点に以下の評価基準の係数を乗じて算出する。

評価	評価基準	得点率
A	特に優れている。高度の能力を有する。的確さ、具体性において高く評価できる。	100%
B	やや優れている。十分な能力を有する。	80%
C	普通（標準）	60%
D	やや劣る、物足りなさを感じる。	40%
E	特に劣る、任せることが不安。的確さ、具体性を著しく欠いている。	20%

評価基準表

500点満点（技術評価点450点、価格評価点50点）

1 技術評価

評価項目	評価内容	配点
1 業務実績 (25点)	・令和3年4月1日以降に同種の業務を受託した実績は十分にあるか。	25
2 実施体制 (25点)	・業務を確実に遂行するために必要な能力を有する業務担当者が配置されているか。 ・市の負担軽減の視点を含め、本業務を円滑に遂行するための組織体制について、具体的に示されているか。	25
3 業務内容・業務理解度 (275点)	① 保有文書量の調査 ・目的に対して効果的な項目・調査シートとする提案になっているか。 ・他自治体で削減に有効であった調査シートを提案しているか。 ・調査シートは、回答を選択式にするなど、職員の負担を最小限にする工夫がされているか。 ・入力前の説明会、問合せ窓口、手順書及びQ&Aは、簡潔で分かりやすくする工夫がされているか。 ・ヒアリング実施の手法について、具体的に示されているのか。 ・削減手法の検討等に活用しやすいとりまとめ形式の提案ができているか。	100
	② 保有文書量削減に向けた手法検討・実現に向けた助言等 ・文書管理についての法令等や国の最新の動向を理解し、削減基準や手法について、具体的かつ的確に提案されているか。 ・課題、有効な作業工程・手法、削減後の運用を検討するためのノウハウがあるか、また削減のための費用を算定するための提案がされているか。 ・実現可能なロードマップ案作成に向けた具体的な提案がされているか。	100
	③ 事務処理のペーパーレス化（紙文書削減）に向けた本市職員向けの啓発支援 ・研修会等の啓発内容は効果が見込めるものであるか。	75
4 工程計画 (50点)	・業務スケジュールが具体的に提示されており、工程・内容等が適切であるか。 ・進捗管理（本市への報告や承認プロセス等）に当たり、本市との適切な役割分担のもと、本市負担軽減に資する支援業務を遂行するための工夫が示されているか。	50
5 創意工夫 (75点)	・仕様書の業務内容に対し、事業者の知見やノウハウが活かされ、本業務の目的に資する提案であるか。	75
技術評価 合計		450

2 価格評価

(最低提案見積額／当該提案見積額) × 50点	50
-------------------------	----